

(シラバス)

科 目 名	発達障害児の理解と援助	
担当教員	岩澤 一美	
【授業概要】 令和 4 年に文部科学省が行った調査によると、通常学級において学習面又は行動面で著しい困難を示す小学校 1 年生の割合は、12.0%となっている。支援級に進んだ幼児はこの数値に加わらないことから、こども園、幼稚園、保育園ではさらに多くの幼児が特別の支援を必要としていると考えられる。こうした発達障害が疑われる幼児の特性を理解し、支援の在り方について具体的に解説する。		
【授業の到達目標】 ① 発達障害の特性について理解する。 ② 発達障害が疑われる幼児への支援の在り方について理解する。		
【授業の形態】 メディア授業の実施【あり】 <授業の特徴>（毎回実施に◎、適宜実施に○を付けてください）		
形態	実 施	具体的に実施すること
講義	◎	
グループワーク・質疑		
演習		
プレゼンテーション		
制作		
その他 （ ）		
【授業計画】		
回	内 容	
1	（オンデマンド） 発達障害とは	
2	（オンデマンド） 発達障害の特性～SLD、AD/HD、ASD～	
3	（オンデマンド） 発達障害の判定	
4	（オンデマンド） 発達障害と似た障害～高次脳機能障害、愛着障害～	
5	（Web ライブ） 発達障害による二次的問題	
6	（Web ライブ） 合理的配慮と基礎的環境整備	
7	（Web ライブ） 発達障害が疑われる幼児への支援	
8	（Web ライブ） 発達障害が疑われる幼児を持つ保護者への対応	
試験		
【履修上にあたっての準備】 教科書を熟読しておくこと。		
【授業外学修（予習・復習）】 教科書及び講義資料を熟読しておくこと。		

【評価方法】

レポート：1,600 字程度を提出

【教科書】

阿部利彦・岩澤一美（2019）．『これだけは知っておきたい 発達が気になる児童生徒の理解と指導・支援 多様性のある子どもたちのあしたのために』（金子書房）

【参考図書】